

夢 塾 だ よ り

～足 る を 知 る～

(91号) 令和7年2月25日

中国の思想家、老子の『道德教』の一節に「知足者富」とあります。 「足るを知る者は富む」の意味で、分（ぶん）をわきまえて、分相応で満足するということですが、その生き方がなかなか難しいのです。

私の好きな歌手「井上陽水」の若い時の歌の中に、『限りないもの、それが欲望。流れ行くもの、それが欲望・・』歌の内容は、子供の頃欲しかった白い靴を母にねだり買ってもらう。毎日、得意げに履いていたが、お使い先の店先で青い靴を見つけてほしくなる。20歳で出会った人に恋し、その人が自分のすべてだと思い結婚する。いつしか指輪を交わしたその指をも見飽きてしまうという内容の歌。

陽水は人間の持つ、欲望の性（さが）を表したかったのでしょう。



人間社会では欲望を追い続け、達成しても新たな欲望が押し寄せる。さて、そのような中で幸せになるにはどうしたらよいのでしょうか。・・・幸せはなるものではなく、感じるものだと思え

ば、「足るを知る生き方」が鍵になります。「事実は一つ。解釈は無限大」です。であれば『解釈』を大切にして、幸せを感じる度合いを増す生き方ができたらいいですね。